



2021年4月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年12月9日

上場会社名 サトウ食品株式会社(登記社名:サトウ食品株式会社)

上場取引所 東

コード番号 2923 URL <http://www.satosyokuhin.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐藤 元

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 近藤 充

TEL 025-275-1100

四半期報告書提出予定日 2020年12月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年4月期第2四半期の連結業績(2020年5月1日～2020年10月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年4月期第2四半期	17,440	6.4	737		881		588	
2020年4月期第2四半期	16,387	6.8	370		246		233	

(注) 包括利益 2021年4月期第2四半期 623百万円 (%) 2020年4月期第2四半期 255百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年4月期第2四半期	116.72	
2020年4月期第2四半期	46.33	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年4月期第2四半期	37,993	13,889	36.6
2020年4月期	32,621	13,468	41.3

(参考) 自己資本 2021年4月期第2四半期 13,889百万円 2020年4月期 13,468百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年4月期				40.00	40.00
2021年4月期					
2021年4月期(予想)				30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年4月期の連結業績予想(2020年5月1日～2021年4月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	43,500	3.1	930	2.4	1,080	4.5	670	2.7	132.83

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年4月期2Q	5,075,500 株	2020年4月期	5,075,500 株
期末自己株式数	2021年4月期2Q	31,555 株	2020年4月期	31,499 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年4月期2Q	5,043,985 株	2020年4月期2Q	5,044,136 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項などについては、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大による世界的な経済停滞の影響が長期化しており、緊急事態宣言解除後の政府の各種施策により、徐々に経済活動の持ち直しの動きが見られる一方で、感染症拡大第2波、第3波への懸念から、先行き不透明な状況で推移いたしました。

食品業界におきましては、新型コロナウイルスへの感染防止策として政府が打ち出した外出自粛要請などを背景に、家庭内消費食品への需要が一時的に増加したものの、新型コロナウイルス感染禍、従業員の安全の確保とお客様への万全の供給体制の整備を最優先としたオペレーションを余儀なくされており、各種コストが上昇基調にあることから、引き続き厳しい経営環境が続くものと予想しております。

このような状況のもと、当社グループは引き続き、安全・安心に重点をおいた包装米飯及び包装餅製品の安定供給、並びに適正価格での販売に努めることを基本に事業活動を推進してまいりました。

おいしさの追求はもちろんのこと、お客様の消費動向を捉えながら、多様化するニーズに対応可能な生産体制の整備を進めるとともに、全社一体となった営業活動に取り組むことで業績の拡大を図ってまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、新型コロナウイルスの感染拡大を背景とした内食需要の高まりもあり、包装米飯及び包装餅製品ともに主力製品を中心に堅調に推移したことから、前年同期比10億53百万円増の174億40百万円(前年同期比6.4%増)となりました。

利益面につきましては、売上高の増加に加え、生産性の向上により売上総利益が増加した結果、営業利益は7億37百万円(前年同期営業損失3億70百万円)、経常利益は8億81百万円(前年同期経常損失2億46百万円)、親会社株主に帰属する四半期純利益は5億88百万円(前年同期親会社株主に帰属する四半期純損失2億33百万円)となりました。これは、前年同期に比べ大幅な増加であり、第2四半期連結累計期間としては過去最高の実績となりました。

『当社グループの四半期業績の特性について』

当社グループは主力製品である包装餅が季節商品(特に鏡餅)であり、その販売が年末に集中するため、第3四半期連結会計期間の売上高及び利益が他の四半期連結会計期間に比べ著しく増加する傾向があります。

また、当社グループは、食品事業の単一セグメントであるため、セグメントごとの記載を省略しておりますが、製品分類別における販売の動向は以下のとおりであります。

製品分類別の販売動向

(包装米飯製品)

包装米飯製品では、簡便性や保存性の高さから需要拡大傾向が続く中、昨年6月に竣工した新米飯工場「サトウのごはん聖籠ファクトリー」の本格稼働により生産体制が整ったため、商品のバリエーション強化を目的に、新商品として「九州産ひのひかり」、並びに復活商品として「会津産コシヒカリ」や「国内産コシヒカリ」を発売いたしました。

さらに、長年にわたる炊飯に関する研究や風味・食感を保つための保存試験により、賞味期限の1年への延長が実証されたため、2020年8月1日製造分より、サトウのごはん全自社ブランド商品の賞味期限をこれまでの10か月から1年へ延長し(一部製品を除く)、近年国際的な課題の一つとして挙げられている食品ロスの削減にも取り組んでまいりました。

これらの取り組みとともに、当社製品が日本古来の炊飯方法を忠実に再現した独自の製造技術(厚釜ガス直火炊き)により、電子レンジ2分で家庭と同様の炊き立てのごはんを再現できることや、製品名に原料米の産地銘柄を明確に表示していることがお客様の利便性及び安全・安心意識にマッチしていること、さらには、昨今の生活スタイルの変化を背景とした内食需要の高まりが影響し、売上高は堅調に推移いたしました。

その結果、包装米飯製品の売上高は119億22百万円(前年同期比8.0%増)となりました。

(包装餅製品)

包装餅製品では、当社グループのみが個包装に使用している酸素を吸収する「ながモチフィルム」の特徴(鮮度保持剤なしでつきたての美味しさを24か月保持)を芦田愛菜さんが可愛らしく紹介するCMや、切り餅「いっぼん」のスティック形状を活かした様々な食べ方を消費者の皆様へ提案するCMを8月より全国放映し、販売拡大に努めました。

鏡餅については、らくポイシリーズや小飾りシリーズのアイテムの充実や、サッとタイプの化粧箱を赤基調のパッケージに一新することで更に華やかにし、また、新型コロナウイルス感染症収束の祈りを込め、SNSでの拡散により話題となっている「アマビエ」をモチーフとしたパッケージ商品を新たに追加するなど、年末の最需要期に向けて取り組みを行いました。

また、鏡餅を店舗で陳列する際の開封作業の軽減を目的として、段ボールを開封するとそのまま商品の陳列ができる「らくらくパッケージ(SRP対応段ボール)」を新たに採用し、取扱店の拡大を目指しております。

これらの取り組みのほか、包装米飯製品同様に新型コロナウイルスの感染拡大を背景とした内食需要の高まりもあり、売上高は堅調に推移いたしました。

その結果、包装餅製品の売上高は55億9百万円(前年同期比3.2%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は189億96百万円となり、前連結会計年度末に比べ53億32百万円増加いたしました。これは主に原材料及び貯蔵品が4億62百万円、仕掛品が3億43百万円それぞれ減少したものの、商品及び製品が54億3百万円、受取手形及び売掛金が8億26百万円増加したことによるものであります。

固定資産は189億97百万円となり、前連結会計年度末に比べ38百万円増加いたしました。これは主に減価償却の進行にともない有形固定資産が1億72百万円減少したものの、投資その他の資産において、株価の上昇にともない投資有価証券が1億1百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は379億93百万円となり、前連結会計年度末に比べ53億71百万円増加いたしました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は173億95百万円となり、前連結会計年度末に比べ59億12百万円増加いたしました。これは主に運転資金としての短期借入金が60億円、支払手形及び買掛金が1億9百万円増加したものの、未払金が1億14百万円、1年内返済予定の長期借入金が1億6百万円減少したことによるものであります。

固定負債は67億8百万円となり、前連結会計年度末に比べ9億62百万円減少いたしました。これは主に長期借入金の減少によるものであります。

この結果、負債合計は241億3百万円となり、前連結会計年度末に比べ49億49百万円増加いたしました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は138億89百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億21百万円増加いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益の増加によるものであります。

この結果、自己資本比率は36.6%(前連結会計年度末は41.3%)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年9月7日に公表いたしました2021年4月期第2四半期累計期間(2020年5月1日～2020年10月31日)の業績予想値と、本日公開の実績値に差異が生じました。詳細につきましては、本日公表の「2020年4月期第2四半期累計期間業績予想との差異に関するお知らせ」をご覧ください。

なお、新型コロナウイルス感染症の感染拡大は類稀な事態であり、当社グループの四半期業績の特性上、売上高及び利益の多くを占める第3四半期連結会計期間について予測不能の要素が多くあると想定されることから、通期(2020年5月1日～2021年4月30日)の業績予想については、現時点では変更はありません。また、実際の業績等は今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年4月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年10月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	306,477	443,491
受取手形及び売掛金	8,443,834	9,270,025
商品及び製品	1,791,935	7,195,470
仕掛品	653,359	310,015
原材料及び貯蔵品	1,894,882	1,432,096
その他	580,182	352,652
貸倒引当金	△6,850	△7,420
流動資産合計	13,663,821	18,996,332
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,844,538	5,716,970
機械装置及び運搬具(純額)	6,157,832	6,052,774
土地	2,346,415	2,341,980
その他(純額)	424,173	488,404
有形固定資産合計	14,772,960	14,600,128
無形固定資産	174,022	364,402
投資その他の資産		
投資有価証券	1,149,288	1,251,190
投資不動産(純額)	2,368,015	2,357,861
その他	521,135	450,722
貸倒引当金	△27,260	△27,260
投資その他の資産合計	4,011,179	4,032,514
固定資産合計	18,958,162	18,997,045
資産合計	32,621,984	37,993,378

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年4月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年10月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,218,516	1,327,752
短期借入金	3,750,000	9,750,000
1年内返済予定の長期借入金	2,121,742	2,014,888
未払金	2,971,477	2,857,229
賞与引当金	371,444	434,101
引当金	39,100	-
その他	1,010,798	1,011,665
流動負債合計	11,483,079	17,395,637
固定負債		
長期借入金	6,548,076	5,604,964
引当金	58,649	61,699
退職給付に係る負債	806,377	807,610
その他	257,706	233,818
固定負債合計	7,670,809	6,708,092
負債合計	19,153,888	24,103,729
純資産の部		
株主資本		
資本金	543,775	543,775
資本剰余金	506,000	506,000
利益剰余金	12,018,385	12,405,382
自己株式	△36,715	△36,938
株主資本合計	13,031,445	13,418,219
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	520,063	539,934
退職給付に係る調整累計額	△83,413	△68,505
その他の包括利益累計額合計	436,650	471,429
純資産合計	13,468,095	13,889,648
負債純資産合計	32,621,984	37,993,378

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年5月1日 至2019年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年5月1日 至2020年10月31日)
売上高	16,387,203	17,440,386
売上原価	10,258,368	10,232,524
売上総利益	6,128,834	7,207,861
販売費及び一般管理費	6,498,880	6,470,049
営業利益又は営業損失(△)	△370,045	737,812
営業外収益		
受取賃貸料	97,264	97,417
副産物収入	46,537	60,622
その他	74,249	95,987
営業外収益合計	218,051	254,027
営業外費用		
賃貸費用	46,732	45,013
その他	47,445	65,149
営業外費用合計	94,178	110,162
経常利益又は経常損失(△)	△246,172	881,677
特別損失		
災害による損失	63,937	-
固定資産売却損	-	3,001
特別損失合計	63,937	3,001
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△310,109	878,676
法人税、住民税及び事業税	18,971	280,803
法人税等調整額	△95,381	9,115
法人税等合計	△76,410	289,918
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△233,699	588,757
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△233,699	588,757

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年5月1日 至 2019年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年5月1日 至 2020年10月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△233,699	588,757
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△42,300	19,871
退職給付に係る調整額	20,737	14,907
その他の包括利益合計	△21,562	34,779
四半期包括利益	△255,261	623,536
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△255,261	623,536
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。